



地域救急医療支援講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001106

among inpatients. Fukushima Journal of Medical Science. 201904; 65(1):13-23.

山田智恵里. 放射線看護を世界へ発信する モンゴル 1 地区での被ばく・緊急対策確立の過程で地域と個人の健康とレジリエンスを強化する. 日本放射線看護学会誌. 201903; 7(1):50.

著 書・訳 書

森 淑江, 山田智恵里, 正木治恵 編. 看護学テキスト NiCE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために. 東京: 南江堂; 201904.

研究発表等

〔研究発表〕

Chiba Y, Yamada C. Survey on Actual Situation and Preparation of Disaster Preparedness at Visiting Nursing Stations. From the Experiences of the Great East Japan Earthquake. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science - Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response -. 20190113-14. Fukushima.

Yamada C. An interim report: an action research for community initiative radiation and disaster risk management in Mongolia. 3rd International Symposium of the Network-type Joint Usage/Research Center for Radiation Disaster Medical Science - Cooperative wisdom among communities for disaster preparedness and response -. 20190113-14. Fukushima.

大戸 実, 山田智恵里, 大津留晶. 放射線災害に遭遇した福島県内 2 地区の看護師で見られた自主避難決定の要因. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 110.

山口真知子, 山田智恵里. 放射線災害 7 年後の福島県中学生の放射線に関する意識と学校での教育・支援の分析. 日本放射線看護学会第 8 回学術集会; 20190928-29; 福島. 抄録集. 154.

地域救急医療支援講座

論 文

〔総説等〕

小野寺誠, 織田 順. 質疑応答プロからプロへ 急性中毒患者への適切な初期対応は? 初期対応で安定したあとでも全身状態の変化を見逃さないことが大切. 日本医事新報. 201903; 4953:61.

著 書・訳 書

小野寺 誠. 中毒性疾患 毒キノコ中毒. In: 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 総編集. 今日の治療指針 2019 年版. 東京: 医学書院; 201901. p.154-155.

研究発表等

〔研究発表〕

Zenda R, Sorimachi K. Extremely emergent transfusion therapy at our emergency outpatient unit including two case reports of full recovery from cardiopulmonary arrest. National Immunohaematology Continuing Education: NICE 2019; 20191013; Adelaide, Australia. Abstract. 79.

全田 史栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 霧視や眼瞼下垂を呈したマムシ咬傷に対し、抗毒素血清投与によりアナフィラキシーショックが生じた 1 例. 第 33 回日本中毒学会東日本地方会; 20190126; 東京. 抄録集. 34.

上野智史, 全田 史栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 初期治療は奏功したが救命し得なかった Septic Pulmonary Embolism の 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P9-3.

武藤 憲哉, 佐藤ルブナ, 全田 史栄, 三澤友誉, 反町光太郎, 小野寺 誠, 伊関 憲. 特徴的な神経学的所見から Wernicke-Korsakoff 症候群と診断した 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P22-3.

全田 史栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 消化管穿孔を契機に受診に至った甲状腺クリーゼの 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190301; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P41-6.

鈴木 剛, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺 誠, 伊関 憲. 呼吸不全に対する VV-ECMO 管理中に右心不全を合併し VAV-ECMO へ変更し救命し得た 1 例. 第 46 回日本集中治療医学会学術集会; 20190302; 京都. 日本集中治療医学会雑誌. 26(Suppl.):P73-4.

和田 淳, 全田 史栄, 佐藤ルブナ, 伊関 憲. リチウム誘発性腎性尿崩症の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):357.

原 純子, 全田 史栄, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺 誠, 伊関 憲. 造影 CT 検査が診断に有用だった無症候性胆嚢炎の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):358.

佐藤ルブナ, 全田 史栄, 伊関 憲. 成人患者に生じた環軸関節回旋位固定の 1 例. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190531; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):380.

全田吏栄, 上野智史, 三澤友誉, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 大野雄康, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 洗濯用パック型液体洗剤の誤飲により界面活性剤中毒および2次的な呼吸不全を呈した1例. 第22回日本臨床救急医学会総会・学術集会; 20190601; 和歌山. 日本臨床救急医学会雑誌. 22(2):390.

反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. スキー場におけるドクターヘリ要請事案についての傾向と対策. 第33回日本外傷学会; 20190606; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):207.

鈴木 剛, 上野智史, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 当センターにおける重症外傷への超緊急輸血療法の取り組み. 第33回日本外傷学会; 20190607; 八戸. 日本外傷学会雑誌. 33(2):274.

伊関 憲, 反町光太郎, 全田吏栄, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠. 急性パラコート中毒治療における問題点. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 49.

全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 小野寺誠, 伊関 憲. 造影CT検査を繰り返すことにより診断および手術治療に至った外傷性腸間膜損傷の1例. 日本集中治療医学会第3回東北支部学術集会; 20190706; 秋田. プログラム・抄録集. 51.

上野智史, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 救急外来で緊急挿管を行い、後に筋萎縮性側索硬化症と診断された一例. 第33回東北救急医学会総会・学術集会/第29回日本救急医学会東北地方会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 77.

三澤友誉, 反町光太郎, 上野智史, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 鈴木 剛, 大野雄康, 小野寺誠, 伊関 憲. 膝周囲骨折後、血流評価を繰り返す行いことで膝窩動脈閉塞を診断し得た一例. 第33回東北救急医学会総会・学術集会/第29回日本救急医学会東北地方会; 20190706; 仙台. プログラム・抄録集. 80.

年名 悠, 小野寺誠, 伊関 憲. 医学部新入学者に一次救命処置教育は必要か? 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191003; 東京. 抄録. 638.

反町光太郎, 佐藤ルブナ, 小野寺誠, 伊関 憲. ハチ刺傷症例に対してドクターヘリの対応は利点があるのか. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 720.

佐藤ルブナ, 伊関 憲, 菅谷一樹, 全田吏栄, 反町光太郎, 小野寺誠. 重症低体温症患者の心室細動発症状況の検討. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 749.

上野智史, 塚田泰彦, 全田吏栄, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 鈴木 剛, 小野寺誠, 伊関 憲. 左内頸静脈から中心静脈カテーテルを挿入し、誤留置となった2例. 第47回日本救急医学会総会・学術集会; 20191004; 東京. 抄録. 848.

〔シンポジウム〕

小野寺誠. 救急医療機関を受診する急性中毒患者に対する救急診療の問題点—精神科医との連携が重要であった症例を経験して—. 第41回日本中毒学会総会・学術集会; 20190720; 川越. プログラム・抄録集. 172.

〔その他〕

鈴木 剛, 菅谷一樹, 上野智史, 佐藤ルブナ, 反町光太郎, 塚田泰彦, 小野寺誠, 伊関 憲. 公立大学病院附属救命救急センターと近隣消防におけるピックアップ方式ドクターカー運用の現状と課題. 第 14 回日本病院前救急診療医学会総会・学術集会; 20191208; 富山. 日本病院前救急診療医学会誌. 14(1):44.

地域産婦人科支援講座

論 文

〔原 著〕

Soeda S, Furukawa S, Sato T, Ueda M, Kamo N, Endo Y, Kojima M, Nomura S, Kataoka M, Fujita S, Endo H, Takahashi T, Watanabe T, Yamada H, Fujimori K. Pelvic Exenteration as Potential Cure and Symptom Relief in Advanced and Recurrent Gynaecological Cancer. *Anticancer Research*. 201910; 39(10):5631-5637.

Watanabe T, Nomura S, Kojima M, Furukawa S, Endo H, Saze Z, Ozeki T, Nishiyama H, Kenjo A, Takahashi T, Yamada H, Fujimori K, Soeda S. Surgical management of recurrent gynecological cancer: Complete resection is the key to longer survival. *European Journal of Gynaecological Oncology*. 201901; 40(1):28-35.

Watanabe T, Honma R, Kojima M, Nomura S, Furukawa S, Soeda S, Watanabe S, Fujimori K. Prediction of lymphovascular space invasion in endometrial cancer using the 55-gene signature selected by DNA microarray analysis. *PLOS ONE*. 201909; 14(9):e0223178.

村田強志, 西山 浩, 磯上弘貴, 三瓶 稔, 赤津賢彦, 浅野重之, 本多つよし. 赤血球増多症を呈したエリスロポエチン産生子宮平滑筋腫の 1 例 免疫染色の有用性. 産婦人科の実践. 201903; 68(3):323-326.

小島 学, 加藤麻美, 渡邊健史, 岡部慈子, 佐藤 哲, 三浦秀樹, 植田牧子, 加茂矩士, 大原美希, 野村真司, 鈴木 聡, 古川茂宜, 添田 周, 渡辺尚文, 藤森敬也. 卵巣未熟奇形腫の治療後に発生した Growing Teratoma Syndrome を腹腔鏡下手術で治療した 1 例. 福島医学雑誌. 201904; 69(1):7-12.

小元敬大, 添田 周, 佐藤 哲, 加茂矩士, 植田牧子, 小島 学, 野村真司, 古川茂宜, 渡辺尚文, 藤森敬也. 化学療法抵抗性となった進行子宮体癌の多発肺転移病変に対して MPA 療法が奏功した一例. 福島医学雑誌. 201908; 69(2):149-154.

野村真司, 渡辺尚文, 鈴木 理, 加藤麻美, 佐藤 哲, 小島 学, 古川茂宜, 添田 周, 藤森敬也. 直腸内膜炎から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の 1 例. 福島医学雑誌. 201912; 69(3):197-201.